

## 一 評論

### 【解答例】

- (一) (1) 光景 (2) 上演 (3) 充足 (4) 翻弄 (5) 偉人
- (二) 言葉の命の源である多義性を奪い意味を固定すること。(25字)
- (三) 物欲につかれた人間が金儲けだけを自己の存在理由に生きること。(30字)
- (四) 人間が将来の因果関係まで全て見通すことができるのでは、自身の存在理由や目標を持ちそれに忠実に生きる喜びを見出せないこと。(60字)
- (五) 自然の因果律に従い生起する事象がもたらす偶然を必然的な出来事として認識し、そこから言葉によって自己の存在理由や生きる目的を見出して、それを忠実に全うするための思考や行動を貫くこと。(90字)

### 【解説】

- (一) 基本。完答が望ましい。
- (二) 「標本」にされた蝶が命を失い固定された状態であることを踏まえる。
- (三) 金貸し婆さんの場合に即し、目標に忠実に生きることはどういうことなのかを説明する。
- (四) 将棋の手があらかじめ全て読めるような、因果関係を読み切れる人間には自己の存在理由を見出せないことを説明する。
- (五) 6ページ最初の段落末尾部分に書かれている「合理的」な生き方を中心にして、これまでの解答も利用しながらまとめる。

## 二 小説

### 【解答例】

- (一) (1) おそろおそろ (2) きっかけ (3) 施しに対する感謝
- (二) シングルマザーの自分への、他人からの優しさに反発を覚えて拒絶すること。(35字)
- (三) 施される者が少しでも卑屈さを感じないように丁寧に接すれば接するほど彼らが屈辱感を増してしまふことに対する葛藤を覚えたから。(60字)
- (四) 他人からの好意への反感は自身の嫉妬によるものだと気づくことで、たくましく生きてほしいから。(45字)
- (五) 人からの好意を利用し生きるのは薄汚いと反感を覚えるが、母子家庭の母親としては当然のような顔でそうせざるをえないという葛藤の中で生きることを受け入れた。(75字)

### 【解説】

- (一) 辞書的な意味を答えればよい。
- (二) 「アレルギー」がここでは精神的な拒否反応であることを踏まえ、何に対する拒絶かも説明する。
- (三) 直後の文から、「ため息」が「葛藤」によるものであることがわかる。葛藤とは相反する感情の間で苦しむことであるから、その相反する感情を具体化して説明する。
- (四) 「しめたもの」は喜ぶべきことをいう。くらはが、直前のセリフから珊瑚が「生きるための武器」を手にするきっかけを手にしたのを喜んでいることを踏まえてまとめる。
- (五) 葛藤を抱えながら生きていくことを受け入れたという珊瑚の気持ちを、葛藤の中身を明らかにして説明する。

### 三 古文

【解答例】

- (一) (1) すさまじかった (2) 無駄なこと
- (二) あなたが昨晚ご覧になった方こそ将門公でいらっしゃいます。見間違いなさいましたか。
- (三) 黄金でできた将門の影武者が6人いるが、本物だけ影を持ちこめかみに肉があること。(39字)
- (四) 影武者6人と本物の将門との見分けがついたので、将門を射殺す好機だと思ったから。(39字)
- (五) これまで将門が攻めてくることが不安であったが、貞盛と秀郷が将門を討ち首を持ってきたため安心したから。(50字)

【解説】

- (一) (1) 「忌まわしい」と訳することが多いが、ここでは「程度が甚だしいさま」。
- (2) 漢字にすると「徒ら事」。「徒」は「無駄な」。
- (二) 尊敬語と、軽い疑問を表す「にや」に注意して訳す。
- (三) 「大事」とは、6人の影武者と本物の将門との違い。本物だけが持つ特徴を説明する。
- (四) 「幸ひ」とは将門を射殺す好機のこと。なぜそれが訪れたのかを説明する。
- (五) 「君」の不安の内容と、それが解消された理由を説明する。

## 四 漢文

### 【解答例】

- (一) (1) 育てるのが難しい (2) 理由を聞き  
(二) これによりてこれをいへば  
(三) 蘭と茶とはどちらも清さという点で共通していること。(25字)  
(四) 臭腐：穢 神奇：甘与芳  
(五) 蘭を育てるのには肥料ではなく茶を使うのがよいという誰かに聞いた話が正しいと頑固に信じていたこと。  
(六) 初めは蘭の栽培には茶をかけるのがよいという話を頑なに信じて客の忠告も受け入れなかったが、蘭を枯らしたことでやっと肥料として糞を与えればよいと気づいた。(75字)

### 【解説】

- (一) (1) 「ほうじがたし」と読む。「奉」の意味は「児女」の話なので「育てる」。  
(2) 「ゆえをとひ」と読む。「故」は「問」の目的語なので「理由」。  
(二) 蘭と茶との共通点を探す。前文が対句となっており、共通するのは「清」。  
(三) 臭腐：腐ったもののことであり、ここでは肥料のことだと判断し「穢」。  
神奇：すぐれたもののことであり、ここでは味と香りについてのことであるから「甘与芳」。  
(四) 「子固にして聞く所に溺る」と書き下す。筆者が聞いて信じていた話は3行目にある。  
(五) 蘭の栽培法について、筆者の認識が改まっていく過程をまとめればよい。